

# 静岡市監査委員協議会 会議録

会 議 令和7年度 第10回 監査委員定例協議会

開催日時 令和8年2月5日(木) 午前9時15分～午前10時15分

出席者 監査委員 深澤 俊昭、堀 努、石井 孝治  
事務局長 杉田 陽子  
書記 柴 秀和  
山田 和誠、山田 裕  
宇佐美亜希、袴田有美子、齋藤 升美  
青野 洋平、神山 悟、谷 梓

---

## 会議内容

### 1 開会宣言 柴次長

### 2 例月現金出納検査等(12月分)

冒頭、柴次長から、白鳥委員が欠席であるため、本日の例月現金出納検査は3人の監査委員で実施し、白鳥委員に対しては個別に対応するとの説明があった。

その後、山田参事から、各会計とも、検査調書に記載されている預金残額と通帳類などの実物を事務局職員が照合した結果、一致していることが確認された旨の報告及び各会計で実施した指定金融機関等の検査結果について報告があった。

#### (1) 説明者等

- ア 各種会計 会計管理者兼会計室長、会計室次長
- イ 病院事業会計 山田参事(監査第1係)
- ウ 簡易水道事業会計 宇佐美係長(監査第2係)
- エ 水道事業会計 宇佐美係長(監査第2係)
- オ 下水道事業会計 青野係長(監査第3係)
- カ 農業集落排水事業会計 山田参事(監査第1係)

#### (2) 発言等

##### ア 各種会計

(深澤代表)

出納調書において、差引過不足額が大きくマイナスとなっている会計がある。それぞれ資金措置されているということで、資金措置表を見ると、例えば介護保険事業会計では、一般会計から23億円の繰替えが行われ、基金からの一時繰替えが29億円、基金への一時繰替え戻しが27億円となっている。一般会計や基金との間で資金の出し入れを繰り返しているように見えるが、このような処理になる理由を教えてください。

(会計室)

財政課が市全体の資金需要状況を踏まえ、金額や時期を定め、一時繰替えや繰替え戻しの指示を出している。

(深澤代表)

その都度の支払いに対応するため、一時繰替えや繰替え戻しを行っているという理解でよいか。

(会計室)

そのとおりである。

(深澤代表)

昨年、「静岡市公金管理方針」を見直したとのことだが、見直し後、公金運用の管理がどのように変わり、どのような効果があったのか。また、財政課と会計室の役割分担について教えてほしい。

(会計室)

今回の見直しでは、各種会計と各企業会計それぞれで定めていた方針を一体化した点が、これまでの方針と大きく異なる。また、資金管理協議会において、公金運用計画を定めるようにし、過去の資金残高の推移から資金余力を把握し、これを踏まえた運用を実施している。これにより、大口定期預金などの運用に関し、公金運用計画において運用可能な金額及び期間をあらかじめ設定したことにより、計画的かつ効率的な資金運用を行うことができている。

運用の規模については、現在運用中であるため確定した数値は示せないものの、大口定期預金への運用額が増加傾向にある。

財政課と会計室の役割分担については、会計管理者の権限は現金の保管であるため、指定金融機関との相対による譲渡性預金の運用は、会計管理者の責任で行っている。一方で、指定金融機関以外との引合取引は、財政課経由で市長の承諾を得て大口定期預金などで運用している。

(深澤代表)

一般会計と各企業会計について、これまでは別々に運用していたものを、一括して運用するのか。

(会計室)

方針は統一したが、資金運用は引き続き会計ごとに行っている。

#### イ 病院事業会計

(深澤代表)

資金予算表では、当月の収支差引が4億3,000万円のマイナス、1月が3億円のマイナスとのことであるが、2月の予定を見ると、プラスに転じている。その要因として一般会計補助金5億円の収入があるが、全体で10億円の補助金収入を見込んでいる中で、残りの5億円の補助金の入金時期はどうなっているのか。

(事務局)

2月に収入予定となっている5億円の補助金収入については、財政課と清水病院で協議をした上で、前倒しとなっている。また、残りの5億円については、例年どおり5月に入金する見込みである。

#### ウ 簡易水道事業会計

特になし

エ 水道事業会計

特になし

オ 下水道事業会計

特になし

カ 農業集落排水事業会計

(深澤代表)

令和6年度決算審査の中で発覚した消費税の過大納付の件について、以前に協議会の中で確認したときには、2月補正で予算措置した上で歳入する方向で検討しているとのことであったが、その後、状況に変更はあるのか。

(事務局)

令和8年2月補正予算事項別明細書において、「過年度消費税及び地方消費税還付金」という項目が計上されており、2月補正で予算措置をする方向である。

(深澤代表)

2月補正の歳入は、年度内に歳入されるのか。また、どの科目に受入れをされるのか。

(事務局)

歳入科目としては、雑収益に計上される見込みと聞いている。

また、最終的には税務署からの還付が3月31日までになければ未収金として計上されることとなる。

### 3 協議会議事

#### (1) 報告事項

ア 報第14号 内部統制の不備に関する報告(令和7年12月分)について

(ア) 説明者

宇佐美係長

(イ) 要旨

報告事項により説明

(ウ) 発言等

特になし

#### (2) その他連絡事項

ア 令和7年度第9回定例協議会会議録の公表について・・・・・・山田参事が説明

イ 2月・3月の日程について・・・・・・柴次長が説明

### 4 閉会宣言 柴次長